

日能研労働組合ファックスニュース

一人はみんなのため、みんなは一人のために

<2009/09/22>

■発行■日能研労働組合
〒650-0025 神戸市中央区相生町 4-4-6
TEL・FAX (078) 371-2991
<http://www.nichinouken-union.com/>
email: info@nichinouken-union.com

7月17日付けで会社に「要求書」を提出しました。8月8日に会社側から回答があり、報告します。

○「評価」の透明化を実現しよう ○

これまでに、評価面談を実施しなかったり、評価表自体を交付していないことが明らかになっています。今後の対応を求めたところ、「実施状況を毎回報告させる」未交付の場合は「注意・指導」をするということです。

しかしながら、濱野取締役は評価表を交付していないどころか、「個人情報」である過年度分の未交付の評価表を紛失しており（Pマークは大丈夫なのか？）、団交の席で再三にわたり「面談」することを求めています。未だ実施されていません。

また、過去に評価面談を半分程度しか実施していないにもかかわらず、全て実施したと主張している元課長もいます。

この問題について、会社側がいか「いいかげん」に考えているかがよくわかります。

そもそも、運営部においては、評価面談自体が無意味化しています。査定会議＝部課長会議で、「1次評価者（＝教室長）」は出席せず、その評価が変わっているのですから、教室長には「説明」できない評価表となっているのです。その意味で、運営部では、評価面談が実施されているとは言えません。これは運営部の部課長の「サボタージュ」でしかありません。

○ 説明する意思がない会社経営陣 ○

私たちはこれまで、賞与や昇給について、再三、金額や月数での回答を求めていきましたが、「評価がまだ済んでいないから決まっていない」と先送りを繰り返しています。一律に昇給する部分、保障される最低限の賞与を求めている要求には、「評価」で決定するという姿勢を崩していないことにも問題があります。しかし、仮に「評価」が万能とするならば、評価と昇給・金額とのリンクが明らかにされるべきです。

その点を明らかにするように求めたところ、「人事考課規程」「給与規程」を見なさいという回答でした。どこに「評価」が何点だったら、何円とか書いてあるのでしょうか？ふざけた回答です。

「評価」万能主義がおそらくは破綻しているのでしょうか？！年度ごとに、個人ごとに、差別があるのかもしれませんが。そんな疑念を解消し、「評価」が万能だと主張するなら、私たちが「検証」可能な資料を公開するべきです。

○ 冬期賞与の賃下げを許さないぞ！ ○

「評価」システム自体が崩壊している（させている）原因は、会社経営陣の「私利私欲」と「無責任」にあるのではないのでしょうか？私たちが「評価」するのであれば、経営のあり方、様々なイベント、教室展開についても「評価」し、公表するべきです。

岡山校開校、夏期4A・5A新設、大研修会パート2、6、7月実施の入室テスト。一つ一つは重要なことでしょう。しかし、一体何だったのか？成功なのか失敗なのか？続けるのか止めにするのか？

多くの職員は、部課長が社長に対して「やりますよ」というポーズを作っているのだと見ています。

その言外には、「結局、現場に『丸投げ』する」「責任を取らず、現場になすりつける」「（部課長が）お互いにかばいあう」部課長会議の「温室」ぶりに憤りを通り過ぎた「あきらめ」が感じられます。

社長を筆頭に、部課長会議メンバーは、

- ① 経営責任を明確にし、所得がいくらなのか明らかにする
- ② 個々のイベントなどについて、総括をし、責任を明確にする
- ③ 「丸投げ」を止め、労働の総量を計測し、「不要」なイベントはなくす

自ら率先して、規範を示さずして、社員がついてくるのでしょうか。

経営責任を明確にせずに、冬期賞与を下げるようなことは許されません。共に闘いましょう！

○ 次回団体交渉 ○

10月6日(火)午前10時より、神戸国際会館（三宮）で次回団交が行われます。

講師関係は契約更改、職員関係は8月8日付会社回答についてが主な議題となります。